

第6学年 国語科学習指導案

福岡市立 小学校

1. 単元名 表現を味わい、豊かに想像しよう 「やまなし」「イーハトーヴの夢」

2. 単元目標

◎描かれた情景を表現を手がかりに想像し、作品の世界を味わう。

○宮沢賢治の生き方や考え方を知り、宮沢賢治の他の作品を読み味わう。

3. 指導計画（12時間）

- (1) 全文を読み、感想を出し合った後、学習計画を立てる。 2
- (2) 「五月」の谷川の情景を文章表現から想像し読みとる。 2
- (3) 「十二月」の谷川の情景を文章表現から想像し読みとる。 2
- (4) 「五月」と「十二月」の情景を対比し、宮沢賢治が伝えたいことを話し合う。 1
- (5) 「イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治の生き方や考え方を知る。 3
- (6) 宮沢賢治の作品を、書かれた時期や背景、生き方や考え方と関連付けて知り、ブックトークを聞き、自分の読みたい作品を決める。 〈本時〉 1
- (7) 各自が読んだ宮沢賢治の作品の感想を発表し合い、次に読みたい作品を決める。 1

4. 本時の目標

○宮沢賢治の生き方や考え方を知り、他の作品に興味をもち、読もうという意欲をもつことができる。

5. 本時指導の考え方

本学級の児童は、朝自習の時間や、授業の残り時間などに読書（すき間読書）をしている。そのため、本を読むことに対する抵抗感はあまりもっていない。しかし、ファンタジーや冒険の本を好んで読む児童が多く、文学作品に興味を示す児童は少ない。そこで、宮沢賢治の物語「やまなし」と評伝「イーハトーヴの夢」の学習を通して、高い理想をもち、それに向かって生きた宮沢賢治の物語の世界に触れ、その生き方を知ることにより、文学作品の面白さや奥深さを知り、読書意欲につながると考えた。

宮沢賢治の物語「やまなし」は、「五月」では、弱肉強食は自然の厳しいおきてであり、避けて通ることのできない事実であることが描かれている。「十二月」では、冬の厳しさの中で自然は次の生命の芽生えをはぐくみながら躍動のときを準備するという、奪うことも奪われることもない世界の穏やかさ、温かさ、平和が描かれている。そして、この作品の背景には、最愛の妹トシの死後、鎮魂として書かれたという事実がある。天命を全うした死が他の生命の中に生き続けるという、理想的な死、幸福な死を願う作者の思いがあると考えられる。「イーハトーヴの夢」は、宮沢賢治の評伝である。高い理想をもち、その理想のためにわが身をかえりみず、人々のために尽くした賢治の生き方を知り、その賢治が書いた

作品への興味を深めることができる作品である。

本時の指導にあたっては、宮沢賢治の生涯を振り返り、それぞれの作品の書かれた時期や背景が作品にどう影響しているかを知ること、それぞれの作品に興味をもたせたい。そして、学校司書のブックトークを聞くことによって他の作品を読みたいという意欲につなげたい。さらに、自分の読んだ作品の感想を發表し合うことによって、まだ読んでいない作品にも興味をもたせ、今後の読書活動につなげていきたい。

6. 準備

紹介する本、ワークシート

7. 本時の展開

学習活動と内容	支援	資料
<p>1. 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて 宮沢賢治の生き方や考え方をふり振り返りながら、読みたい作品を決めよう。</p> </div>	<p>○「イーハトーヴの夢」で宮沢賢治の生き方や考え方を学習したことを想起させる。</p>	
<p>2. 宮沢賢治の他の作品を知る。</p> <p>①「雨ニモマケズ」を全員で音読する。</p> <p>②「銀河鉄道の夜」の書かれた時期と背景を振り返り、「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」という言葉から、宮沢賢治の生き方や作品を振り返る。</p> <p>③「よだかの星」のブックトークを聞く。</p>	<p>○賢治の闘病中に手帳に書かれた詩であり、この手帳の存在は家族も知らず、死後に見つけられたものであることを知らせる。</p> <p>○『銀河鉄道の夜』には、「やまなし」にも出てきたように金剛石や水晶などの鉱物が出てくることを伝え、宮沢賢治が「石こ賢さん」と呼ばれるほど石が大好きだったことを想起させる。</p> <p>次に『銀河鉄道の夜』の最後のページを見せ、宮沢賢治の作品の根底には、「やさしい心」「人間らしい生き方」「たがいに心が通い合うような世界」などの賢治の考え方があることに気付かせる。</p> <p>◇学校司書から他の本を紹介してもらうことを伝える。</p> <p>○「よだかの星」の導入のページを配布し、範読と一緒に黙読させた後、よだかという鳥について説明し、興味をもたせる。</p>	<p>「雨ニモマケズ」 （『おもしろくてやくにたつ子どもの伝記6 宮沢賢治』（ポプラ社）より）</p> <p>『銀河鉄道の夜』 （偕成社）</p> <p>『よだかの星』（くもん出版）</p>

<p>④「グスコープドリの伝記」</p> <p>⑤「注文の多い料理店」のブックトークを聞く。</p> <p>⑥宮沢賢治の伝記を知る。</p> <p>3. 紹介された本や、年表の中に書かれている本の中から、読みたい本を選ぶ。</p> <p>○選んだ本の題名と選んだ理由をワークシートに書く。</p> <p>4. 読みたい本を発表する。</p>	<p>○学校司書の一番心に残っている場面を紹介する。</p> <p>○西洋料理店の様子やドアに書かれている言葉に注目させ、興味をもたせる。</p> <p>○『宮沢賢治全集』にも今まで紹介した童話や他の童話があることを伝える。</p> <p>○『宮沢賢治』の「はじめに」を読む。</p> <p>◇選び方がわからない児童には、学校司書に選ぶときのアドバイスをしてもらう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評価</p> <p>A：宮沢賢治の作品に興味をもち、進んで読みたい本を選び、選んだ理由を書くことができる。</p> <p>B：宮沢賢治の作品から読みたい本を選ぶことができる。</p> </div> <p>○次時に読んだ感想を発表し合うことを伝える。</p>	<p>『グスコープドリの伝記』（くもん出版）</p> <p>『注文の多い料理店』（講談社）</p> <p>『宮沢賢治全集』（岩崎書店）</p> <p>『おもしろくてやくにたつ子どもの伝記 6 宮沢賢治』（ポプラ社）</p> <p>○ワークシート</p>
--	--	--